

檀信徒・霊園使用者各位に発行しています。

お盆の季節です



本年五月の熊本地震に於いて、被災された皆様
に先ずもお見舞い申し
上げ、お亡くなりにな
られた皆様、ご家族様
は心より哀悼の意を申し
上げます。

天災に遭うとき我々は
常に無力さを痛感しま
す。平和な日常を送つて
いたその刹那、途方もな
い力によって生活も、時
には命さえも奪われる。

自然の力の前には、現代
の科学力をもってしても
全く太刀打ちできない現
実に打ちのめされるしか
ないのです。

しかし、そんな中に
あって、東北の人たちと
同様に、救援物資に整然
と並び、また、被災者自
らが先頭に立って救援活

動を行う姿に胸を打たれ
ました。「つらいけど、周
りを見たらもつと大変な
人が居た。自分は動ける
んだから何でもやります
よ」そうテレビのインタ
ビューの答えた青年に、
生きる力、命の美しさを
感じずには居られません
でした。

今を生きる命、そして
その命を私につないでく
れたご先祖様の命。様々
な命に感謝するのがお盆
です。今年度も宝泉寺の
盂蘭盆会はお盆最終日に
行われます。是非ご参加
下さい。

お問い合わせは
宝泉寺（〇四二一六六一
―三三五三）まで。
柵経のご希望も受け付け
ています。



お盆の精霊棚の飾り付け一例です。ご参考にしてください。

- ①テーブルにマコモを敷く
- ②四方に笹を立て麻縄で結ぶ
- ③位牌香炉燭台花等を飾る
- ④茄子や胡瓜で馬と牛を作る
- ⑤蓮葉に夏野菜の粗みじん切りと生米を乗せる「水の子（みずのこ）」、椀に清水を満たした「開加水（あかみず）」を供える
- ⑥膳をつくり供える
- ⑦その他、そうめん、果物など夏の食物を供えてください。お盆セットがスーパーなどで売っていますが、詳しくは住職までお気軽にお問い合わせください！

法話

「父母の寿命百年にして病無く……」

お盆の行事の根拠として用いられるお経がありま
す。仏説盂蘭盆経というお
経です。三世紀頃の中国初
期の仏教界を代表する訳僧
（經典を翻訳する専門家）
で様々なお経をインドの言
葉から漢語に訳した竺法護
（じくほうこ）という人が
残したお経です。この中に、
盂蘭盆の起源となったお話
が出てきます（宝泉寺報第
一号参照）

お釈迦様の高弟、目連
尊者が神通力をもって今は
亡きお母さんの様子を調べ
てみると、何と地獄の餓
鬼道に落ちて責め苦しんで
いることがわかりまし
た。餓鬼道は生前、「欲張り
」であった報いを受ける
ところで、一切の食事をす
ることが出来ません。目連も
骨と皮ばかりになった母に、
腕に盛ったご飯を差し入れ
るのですが、母が左手でそ
の腕を受け取り、右手で食
べようとするとたちまちご
飯が燃えてしまい炭になつて
食べる事が出来ないので
す。目連をその哀れさに号
泣して、お釈迦様にどうし
たら母を救えるのか訪ねま
す。「目連よ、では修行僧
が大勢来る夏の時期に合わ
せ、世の中の美味しいもの
を集めてあらゆる修行者に
施しなさい。修行者は坐禪
しお経を読んで潔斎してこ
の施しを受けなさい。そう
すれば、母は三途の川の苦
しみから抜け出し解脱して
仏となる事が出来るのだろ
う」修行者たちは塔にこも
って坐禅し、祈りを捧げ、そ
れから目連の用意したご馳
走を戴きました。目連と修
行者たちは布施の有り難
さを身にしみ感じて、互い
に喜び合いました。すると、
目連の母もこの功德によって
餓鬼の苦しみから抜け出す
ことができたのです。

目連のお母さんが地獄で
責め苦しんでいた様子を
「ウランバーナ」といい、こ
れが現在の盂蘭盆（ウラボ
ン）お盆の語源となっています。
面白いのは、お母さんと
救うために、一見お母さんと
は全く関係ない「あらゆる
修行者」に施しをする必要
があった、というところです。
修行者も理由のいかんに関
わらず黙って施しを受けてい
ます。じつは目連の「お母
さんを救いたい！」とする
心も、また我欲でありまし
た。欲が過ぎるために落と
された餓鬼道から母を救い
出すためには、一旦その思い
から離れる必要があったので
す。だから直接にはなんの関
わりもない者たちに、己の
欲を離れて施しをし、また
それを無心で受けてもらう
ことが大事なことだったので
す。無欲になって行動するこ
とが結果的には大きな功德
を積むことになり、ようや
くお母さんを救いだすこと
が出来たわけですね。

もともと、お盆の飾りで
ある精霊棚（写真参照）は
自分の家の中ではなく、庭
先などから外向きにしつら
えるものだったそうです。
そして通りかかった人は誰
でもそのご馳走を食べて良
かった。縁側に陣取って「あ
なたは好きだから食べて良
いけど、そっちのあなたに
嫌いだから食べちゃだめ」
などと言ってはいけないの
です。つまり自分の「好き嫌い
」や「ああしたいこうしたい
」という思い（我欲）を一旦
停止して、無差別に施しを
することが大事な目的だっ
たのです。そうすることで
結果的に果報が戻ってくる
のですね。

お盆の行事は自分の家の
仏さま、ご先祖様をお迎え
し、おもてなしする行事で
すが、本当は自分の先祖だ
けでなく、あらゆる仏さま、
目に見えない精霊たち、ま
た仏弟子（生きている私た
ち同士）どうしが無条件で
施しあう行事なのです。「こ
れは家のだからホカの人
は食べちゃだめ！」などと、
自分の思いばかり振りか
ざしてはいけません。目
連のお母さんが落ちていた
のは欲張りを戒める餓鬼道
でした。欲しい欲しいだけ
が欲張りではありません。
自分の意見ばかり主張した
り、世の中の善し悪しを勝
手に決めつけたりするのも、
欲張りの行いです。うーん、
そんな人、ケッコウいますねエ。
仏説盂蘭盆経は最後にこ
う述べています。「百味の飲
食を用意して盂蘭盆の中に
おき、お互いに施しあえば、
現在の父母の寿命百年にし

巡教報告

「広島・吉舎地方」



宿舎から眺む吉舎の山並み。夜は一人きり！

本年度の巡教は4月末、広
島県三次市吉舎地方。臨濟宗
仏通寺派に属する5ヶ寺の施
餓鬼法要に合わせての法話で
した。このあたりは人口減少に悩
む、いわゆる「限界集落」とい
われる地域。ご住職様がたの悩
みはやはり檀家衆が減っていく
ことだそうです。人が減るとど
うしても護国寺は難しくなるもの
ですが、ほとんどのご住職が仕
事を掛け持ちし、家族とお寺
を守っておいででした。どのお
寺も寺域は清浄、威儀が乱れる
ことも無く、立派な法要でした。
特に85才になる老僧は、老人
ホームで暮らしながら毎日、山
頂にあるお寺まで通い、掃除と
法務を欠かさないうです。「健
康の秘訣やあ」と朗らかに笑っ
ておられました。なかなか出来
ることではありません。お寺を
守る、菩提を守ることの責任の
重いことを改めて感じた、充実
した5日間でした。

仏事に関する よもやまばなし



今号からしばらく、お釈迦様のお亡くなりになる様子を描いた、いわゆる「涅槃図」を見ながら、お話を参りたいと思います。

お釈迦様は29才で出家、35才でお悟りを啓かれて後、約45年間、各地を廻りその教えを説き続けられました。それは「人間の苦惱」を知り、その苦しみから一人でも多くの人々を救いたいという思いからでした。80才の時、クシナガラという町の外れに着いたとき、遂に最後をお迎えになられます。その様子を描いたのが「涅槃図」です。

- ① 臥如来（横たわるお釈迦様）
- ② 満月（命日2月15日は満月だった）
- ③ 河（ピランヤヴァティー河）
- ④ 四本の沙羅双樹（双樹なので8本描かれる）
- ⑤ ベット（宝牀）
- ⑥ 錫杖（旅の途中であったから）
- ⑦ ふくさ（中には鉢が）
- ⑧ マヤ夫人（無くなつたお母さんがお迎えに）
- ⑨ 嘆き悲しむ52種類の生き物たち

{し} あいうえお用語辞典 (じはつ・持鉢)

主に修行僧が食事の時に使う食器。どんぶりサイズから小皿まで五枚セット。これを重ねて収納して常備します。飯、汁、菜を取り分けて決して音を立てずに。最後は熱い番茶を注いで鉢を洗い、そのお茶も飲み干します。

米一粒葉一枚無駄なく戴く禅僧の食事には欠かせない一品。食事も修行なのです。



奪って食べなければならぬ、そういう根源的な罪を負っています。また、病に苦しみ、老いに苦しむ、この現実世界から完全に解き放たれて、一切の心配事のない世界に入っていく。つまり極楽浄土に入っていく。お釈迦様は死期を悟ると「ああ、やっと安心の世界にいける」とつぶやいたそうです。自分の一生を充分に行き尽くした者だけが吐ける言葉ですね。沙羅双樹の静かな林中。空には美しい満月。その優しい光の中で苦しむ体を横たえるお釈迦様。北から南に向かって流れる川の主流に頭を向け、心臓に負担がかからないように右を下にしています。このとき頭が北に向いていたことからいわゆる「北枕」になっています。「北枕」というと縁起が悪いというイメージがありますね。それはお葬式の時に亡くなった人を北枕に寝かせるからだと思えます。しかしほんとうは、お亡くなりになった方をお釈迦様と同じように寝かせるための北枕なんです。仏さまを丁寧に扱う作法であるわけですが、実はアジア地域では北が最も上位に当たるそうです。そういうえば高貴な方は北を背にして臣下に向かい合う。お寺のご本尊も北を背にして

いますね。また枕の向きは「東貧西福南短北長」（東枕は貧乏、西枕は裕福、南枕は短命で北枕は命長し）などと言われて、じつは北枕は本当はとて縁起の良い、有り難い寝方なんだそうです。北枕、大いに結構。みなさんはどっち枕で寝てますか？

いまわの際、のどの渴きを訴えられたお釈迦様はお弟子のアナンに水を所望されます。しかしあいにく河は濁っている。しかしどうにもどりが濁く。三度アナンが水をくみに行くと、果たせるかな河は澄み、きれいな水を差し上げることが出来た。お釈迦様はその水を美味しそうに飲んでお亡くなりになった。最後に口にされたのがお水であつたことから、今では末期の水として、ご遺

体の口をしめらせて差し上げるようになっていきます。本来は亡くなる直前に水を飲ませてあげるものですね。去りゆく愛する人に、お釈迦様と同じように最後を迎えさせてやりた

い、その思いが末期の水であり、北枕であつたのです。現代にも残る葬儀の作法は実はお釈迦様のご様子に倣っていることが多いのです。次号に続

大 事 な お 知 ら せ

その①
当山併設「葬祭場宝泉寺別院」が使用料金改定を行いました。檀信徒の皆様は今後、霊安室、式場使用料共に無料となります。これにより、これまでより更にお金の心配をせずにキチンと儀式を行えるものと思います。

その②
当山発行「宝泉寺報」も11号。檀信徒代表者の方にお送りしておりますが、出来ればたくさんの方にお読み戴き、仏事の参考にして戴きたいと思っております。次の世代を受け継ぐ方やご親戚の方など、無料で送り致します。ぜひお申し込み下さいませ。電話メールFAXなど随時。



涅槃図

霊園管理事務所から 霊園だより

不安定な天候の日が津好きですが皆様いかがお過ごしでしょうか。梅雨が明けるとお盆の時期がやって参ります。管理事務所でもお花お線香を用意して皆様の墓参をお待ちしておりますので是非ご利用下さい。前号にて紹介したお寺の猫のシルバーちゃんを覚えていらつしやるでしようか？

最近朝一番に来ておやつのおねだりをして、もらえるとすぐにお寺に戻ってしまうようになりまして。たまに気が向くとお昼ぐらいたまごで事務所までゴロゴロしていることもありますが「ネコは気まぐれだからしょうがないけどつれないなあ」とか「ちよつとさみしいですね」などと事務所の皆で話をしています。末筆ではありますが皆々のご健勝をお祈り申し上げます。管理事務所 畑山

オススメ図書

臨済宗の住職にして芥川賞作家、玄侑宗久師の一冊です。木魚やお袈裟など、お寺にまつわる「モノ」を通して、そこに込められた禅的意味や、それを使う禅僧の思いが紹介されています。もともと檀信徒の方向けに書かれた本ですから、とても面白く読んで戴けるとおもいます。ご興味を持った道具があつたら、当山で実際に見ることが出来る！お得！一五〇〇円。

